

【フリートーク:次期環境基本計画の検討状況について(その4)】

8月18日(日)に「第234回環境ひろば全体会」を開催し、第三次国分寺市環境基本計画(素案)における施策の展開について意見交換しました。事務局から、4つの基本戦略の2030年の姿(目標)、成果指標、施策体系、基本方針ごとの進捗管理の指標、施策に基づく取組の内容について説明を受けました。

主な意見は以下のとおりです。



ワークショップ(写真)

戦略1 脱炭素化と循環型社会の形成によるゼロカーボンシティの実現

- 基本方針1-1で進捗管理の指標を「市内のエネルギー消費量を50%削減する」と設定しているが、相当厳しい指標ではないか。

戦略2 人と自然と多様な生きものが共生するまちの実現

- 成果指標の設定について、「生物多様性の認知度の向上」は次世代に限定せず、全ての世代を対象にして設定すべきである。
- 生物多様性の視点を取り入れたことは良いことであると思うが、施策のところで生物多様性については大きな捉え方で、具体的に何をするのが記載されていない。

戦略3 誰もが安心・安全で健康に生活できる住みやすいまちの実現

- 特に意見なし。

戦略0 国分寺の環境を次世代につなぐ基盤の形成

- ワークショップ参加者から情報の見せ方を工夫する必要があるという意見があった。また、国分寺の魅力を伝えるために、若者が興味を持ちやすい情報を発信することが重要で、共有しやすい内容に焦点を当てるべきだと考える。立派な方針や細かい計画が蔑ろにされることに危機感を抱いている。

その他意見

- 施策そのものについての推進を把握できる指標はないのか。これまでの実施計画では、各部署がやっていることを単に後追いしている指標が多かった。施策は確かに見直されているが、指標については見直されていないという印象を受ける。
- 環境ひろばについて、SNS等を活用した情報発信の仕方が不十分であり、若者が参加したいと思える要素が欠けている。若い世代が環境についてどのような活動をしているのかについても真剣に考慮すべき。
- ワークショップを数回開催するだけでは、参加者の理解度が不十分のまま終わってしまう。理解度を深める工夫をしてワークショップの回数を増やす必要があるのではないか。
- ワークショップでは、問題意識や課題意識を持つ人々だけでなく、一般の市民の意見も取り入れる必要がある。一方、環境ひろばは、環境問題について自分の考えを持つ人の集まりであり、環境基本計画の今後の在り方と実施方法を議論する場と位置付けるべきである。

【神代植物公園 植物多様性センター現地見学会】

9月8日(日)に開催した環境ひろばでは、神代植物公園植物多様性センターの見学会を実施し、東京都での植物の生態系について深く学ぶことができました。

情報館では、植物多様性センターの職員からセンターの役割や設立の目的についての説明をいただいたほか、東京都における絶滅危惧種の紹介など、植物多様性の重要性についてお話しいただきました。

学習園での見学では、東京都内の様々な自然環境(武蔵野、奥多摩、伊豆諸島)を再現したそれぞれのゾーンを巡りながら解説をしていただきました。武蔵野ゾーンでは、豊かな樹林や湿地に特有の植物が多く見られ、都市近郊ながら多様な植生が残っていることに驚かされました。また、奥多摩の自然では、特有の丘陵地や台地での植物が生息していることを学びました。そして、伊豆諸島の自然に関しては、海に囲まれた独自の気候と火山活動による特異な植生が特徴で、他の地域では見られない希少な植物を見ることができました。

実際に観察し、説明をしていただいたことで、参加者からは「とても楽しい時間でした。他の季節にも来て、色々な植物の季節の姿を見たいです。」と好意的な意見も寄せられました。(環境ひろば会員・山岸 信雄)



現地見学会の様子

【姿見の池アメリカザリガニ捕獲大作戦】※特別許可をとって本イベント実施

9月28日(土)に、『姿見の池アメリカザリガニ捕獲大作戦』を実施しました。当日は、参加者の親子38名が集まり、姿見の池の接続水路において釣り形式で捕獲を行いました。捕獲前に、環境アドバイザーの林鷹央先生から「なぜ日本にアメリカザリガニがいるのか」、「生きものを飼う心構え」、「外来種の問題は人間によって引き起こされている」といったお話がありました。

参加者の子どもと大人も夢中になってアメリカザリガニを釣り、捕れるたびに歓声があちこちであがりました。捕獲作業後は大きさを測ったり、オスカメスカの確認などを行いました。当日捕獲したアメリカザリガニは87匹、最大サイズは約9cmでした。昨年度より捕獲数は約1.5倍(昨年度は56匹)で、ザリガニも大きいものから小さいものまで多く生息していました。

今後も姿見の池及び周辺で多様な生きものが生息できる環境を整えるため、外来種は「入れない」、「捨てない」、「拡げない」の三原則を守っていただくようご理解とご協力をお願いします。



捕獲したアメリカザリガニ



林鷹央先生からの講義

環境ひろばのお知らせ

11月17日(日)午前10時～正午 市役所 書庫棟会議室(戸倉1-6-1)

『環境ひろば』は、環境(保全、回復、創造)について市民・事業者・市が自由に意見交換を行う場です。皆さんのご参加をお待ちしています。

(あとがき)

酷暑の夏でした。とりわけ福岡県太宰府市では、7月19日から8月27日までの40日間、猛暑日(最高気温が35℃以上の日)が続き、連続猛暑日日数の国内最高記録を更新しました。線状降水帯の発生も頻繁にあり、9月21日から23日にかけての能登半島豪雨は甚大な被害をもたらしました。秋の味覚サンマの漁場も東北沖から北海道沖に移っています。地球温暖化問題への対処は私たちの急務です。(山岸)

国分寺市環境ひろば

事務局

国分寺市 まちづくり部 まちづくり計画課

〒185-0012

国分寺市本町4-1-9本町クリスタルビル4階

TEL:042-314-9005(直通)

FAX:042-323-9060

Eメール:machikeikaku@city.kokubunji.tokyo.jp